

前回ヒアリング（2020年6月3日実施）からの修正箇所

No.	ページ	修正内容
本編資料（H4-CA-180-R02）		
1	p.3	・ 右列上から二番目，三番目の箱書き。評価内容の記載を該当頁の記載と整合させた。
2	p.4	・ 下の箱書き。「4.H 断層系の活動性評価」の記載を該当頁の記載と整合させた。
3	p.32	・ EW 系逆断層及び NS 系正断層の形成要因についての記載を削除した。 ・ 相良層へ作用する力についての注釈を追記した。
4	p.33	・ スライドタイトルからの「（参考）」を削除した。 ・ 敷地周辺の広域応力場に関する時代の記載を適性化した。
5	p.34	・ 表から EW 系逆断層及び NS 系正断層の形成要因についての記載を削除した。
6	pp.36,73	・ flexural-slip fault についての露頭写真にスケールを追記した。
7	p.66	・ 表から EW 系逆断層及び NS 系正断層の形成要因についての記載を削除した。 ・ 一番下の箱書き。括弧内の記載を適正化した。
8	p.67	・ 一番上の箱書き。EW 系逆断層の形成要因についての記載を削除した。
9	p.70	・ 「推定される敷地の断層形成過程」欄の記載を適性化した。
10	pp.81,210,215,216,242,243,246~248	・ H 断層系の同時性に関する評価について，当社の評価が明確になるよう「まとめ」の記載を適性化し，評価フローを「まとめ」と整合させた。
11	pp.143~145	・ 海域の H 断層系の観察結果（詳細）を追加した。（補足説明資料から本編資料へ移動）
12	p.146	・ 「流動的な変形構造」をスケッチから評価した旨を注釈で補足した。 ・ 各断層の観察結果（詳細）の参照元を欄外に記載した。
13	p.150	・ 敷地の相良層の堆積時期についての記載を適性化した。
14	p.151	・ H 断層系の細粒物質についてのスライドを追加した。
15	p.176	・ 砂岩比率の定義及び算出方法を追記した。
補足説明資料（H4-CA-181-R02）		
16	pp.20,23	・ No.15 の変更と同じ。
17	p.37	・ 砂岩比率の定義及び算出方法を追記した。 ・ 掲載したコア写真の孔名及び深度を追記した。

No.	ページ	修正内容
18	p.51	・ No.13 の変更と同じ。
19	p.52	・ No.14 の変更と同じ。
20	pp.68～70	・ No.10 の変更と同じ。
21	p.82	・ 上の箱書き。「(1)正断層群の形成要因・地質構造」の記載を適正化した。
22	p.84	・ 「形成時期（活動性）」について、「H 断層系」欄の記載を適性化した。
23	p.89	・ No.10 の変更を反映した。
24	p.98	・ 文献「杉山ほか(2010)」を追記した。

※その他記載の統一，軽微な記載適正化を実施。

以上